

3月21日

テーマ：「思い煩いを神にゆだねる」

聖書箇所：ペテロの手紙第一 5章 7節

◆今日のみことば

あなたが^{おも}の^{わずら}思い煩いをいっさい^{かみ}神にゆだねなさい。神があなたが^{かみ}たの^{しんぱい}ことを心配してくださるからです。 ペテロの手紙第一 5章 7節

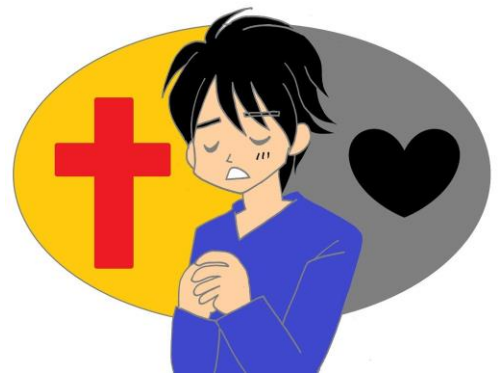
◆メッセージ

この手紙を受け取った人たちは、小アジアの各地に散らされて滞在しているクリスチャンたちです。この手紙を読むと、彼らが嫌がらせを受けたり、迫害されていたりしたことがわかります。

ここでペテロさんは、明日はどうなるのだろうと考えるとつらくなるようなクリスチャンたちに「へりくだること」を教えています。へりくだるとは、どのようなことなのでしょう？それは、神さまが私の全てを知っていてくださる方であり、私たちを心配し、見捨てない方であるということを感じるようなのです。私たちは、つい「自分でできる！」と思ってしまうときがあります。しかし、神さまはそのような高ぶった思いを喜ばれません。神さまは高ぶるものに敵対し、へりくだるものに恵みをお与えになる方です。「自分でできる」と思うことの反対に「自分にはできない」と思ってしまうと、こわくて身動きできないような思いになります。自分ではなくて、神さまがしてくださる、これがへりくだった心です。聖書はこう言います。「あなたがたは、神の力強い御手の下にへりくだりなさい。神が、ちょうど良い時に、あなたがたを高くしてくださるためです。」

そして「あなたがたの思い煩いを、いっさい神にゆだねなさい。神があなたがたのことを心配してくださるからです。」と書かれています。ゆだねるとは、持っているものを「投げかける」という意味があります。問題や悩みを自分の手の中に持ち続けるのではなく、神さまに渡し切りなさいと言うのです。

へりくだって、私たちの全てを知ってくださる神さまを信じ、全てをおゆだねする祈りをしてみましょう。必ず神さまは、私たちの祈りを聞いてくださいます。



◆お祈り

「天のお父様。私の全てを知ってくださり、心配してくださる神さまが、いつも一緒にいてくださることを感謝いたします。どうか、私の祈りを聞いてください。」

(支援教師 山本真理子)